



平成30年3月期 第3四半期決算短信(IFRS)(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 富士通株式会社
 コード番号 6702 URL <https://www.fujitsu.com/jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 達也

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 広報IR室長 (氏名) 山守 勇

TEL 03-6252-2175

四半期報告書提出予定日 平成30年2月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (マスコミ向け・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	2,926,372	0.1	38,529	29.3	72,395	22.1	62,795	64.0	55,430	71.9	144,575	177.0
29年3月期第3四半期	2,928,679		54,473		59,297		38,295		32,237		52,194	

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	27.03	27.03
29年3月期第3四半期	15.58	15.58

第1四半期より富士通テン株式会社を非継続事業に分類しております。これにより非継続事業からの利益は、要約四半期連結損益上、継続事業と区分して表示しております。したがって売上収益、営業利益及び税引前利益は継続事業の金額を表示しております。なお、対応する平成29年3月期第3四半期についても同様に組み替えて表示しているため、売上収益、営業利益及び税引前利益の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
30年3月期第3四半期	2,982,429		1,119,931		994,898		33.4	
29年3月期	3,191,498		1,019,202		881,292		27.6	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		4.00		5.00	9.00
30年3月期		5.00			
30年3月期(予想)				6.00	11.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,100,000	0.8	185,000	57.5	145,000	63.9	70.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(1)連結経営成績(累計)と同様に、売上収益及び営業利益は継続事業の金額を表示しており、前期増減率についても継続事業の前期数値に対する増減率を記載しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	2,070,018,213 株	29年3月期	2,070,018,213 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	19,650,834 株	29年3月期	19,540,434 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	2,050,420,415 株	29年3月期3Q	2,068,804,965 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が提出日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- ・主要市場における景気動向(特に日本、欧州、北米、中国を含むアジア)
- ・ハイテク市場における変動性(特に半導体、パソコンなど)
- ・為替動向、金利変動
- ・資本市場の動向
- ・価格競争の激化
- ・技術開発競争による市場ポジションの変化
- ・部品調達環境の変化
- ・提携、アライアンス、技術供与による競争関係の変化
- ・公的規制、政策、税務に関するリスク
- ・製品、サービスの欠陥や瑕疵に関するリスク
- ・不採算プロジェクト発生の可能性
- ・研究開発投資、設備投資、事業買収・事業再編等に関するリスク
- ・自然災害や突発的事象発生のリスク
- ・会計方針の変更

業績予想値算出の前提となる条件等については補足説明資料(プレゼンテーション資料)をご参照下さい。